



スイス

## 洗淨効果は期待できないエコ洗濯グッズ

- Konsumenteninfo AG “K-Tipp” 2022年第13号 <https://www.ktipp.ch/tests/produktetests/detail/artikeldetail/bei-rotwein-und-kaffeefflecken-versagen-oeko-waschmittel/>
- オーストリア消費者情報協会ホームページ <https://konsument.at/oeko-waschmittel-alle-versagen-bei-rotwein-und-kaffee/65849>

合成洗剤による水質汚染が問題となっている。そこで登場したのが、環境に負荷をかけないという「エコ洗濯グッズ」である。しかし、洗淨効果があるのか気になることから、消費者情報誌『K-Tipp』はテレビ局と共同で、エコ洗濯グッズ8商品のテストを行った。

内訳はシート型洗剤4商品、木の実洗剤2商品、洗濯ボール2商品である。シート型洗剤とは、環境汚染成分を含まないという洗剤を紙のような外見に固めたもの。木の実洗剤とは、サポニンを含むウォッシュナッツの外皮を使った天然洗剤\*で、今回は外皮そのものの商品と、外皮を液体化した商品を対象とした。また、洗濯ボールとは、ゴム製やプラスチック製の丸いケースにセラミック等の玉を入れたもの

で、洗剤成分は含まれていない。

テストは洗濯機を使い、各エコ洗濯グッズを入れて、さまざまな汚れ(草の汁、赤ワイン、チョコレート、コーヒー、牛脂等)を付けた布を洗う方法とした。汚れの落ち具合を比較するため、通常の液体合成洗剤1商品を使った洗濯も行った。さらに参考として、洗剤等を一切使わず、水だけの洗濯とも比較した。

その結果、布の汚れが落ちたのは、比較対照品の液体合成洗剤で洗った場合だけということだった。テスト対象の8商品はいずれも、単なる水洗いと変わらないと評価された。しかも、木の実洗剤と洗濯ボールによる洗濯では、白い布が徐々に灰色に変色したという。さらに、洗濯ボールを使っているうちに繊維が傷むという難点も指摘された。

\* ウェブ版「国民生活」2019年10月号「海外ニュース」参照 [https://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201910\\_08.pdf](https://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201910_08.pdf)



ドイツ

## アンチエイジング効果は期待できない美容ドリンク

- 商品テスト財団「テスト」2022年11月号 <https://www.test.de/Hyaluron-und-Kollagen-Drinks-im-Test-5929016-0/>
- 商品テスト財団「テスト」2021年11月号 <https://www.test.de/Hyaluronsaeure-Bewirkt-Sie-etwas-gegen-Falten-5799142-0/>

年齢を重ねた女性の心をわしづかみにする商品があふれている。商品テスト財団は以前、しわに効くと宣伝する化粧品9商品の使用テストを行い、「効果なし」という結論を出した\*。今回テストしたのは、「しわを目立たなくする」「若々しい肌に」など、外見への効果をうたう美容ドリンクで、コラーゲンとヒアルロン酸の両方または一方を含有する15商品である。14商品は小瓶入り(容量20~25ml)、1商品はスティック型で、いずれも栄養補助食品に分類される。ほかに、ビタミンCが全商品に、ビタミンE、ビオチン、亜鉛が多くの商品に含まれていた。

以前の化粧品テストでは、一般女性に商品を4週間続けて使ってもらい、専門家が目視で効果を判定する方法だったが、今回の手法は大きく異なる。実

験室で成分を分析するとともに、事業者が提示した科学的根拠や最新の文献等により効果を判定する方法とした。その結果、アンチエイジング効果が証明された商品は皆無だったとのことで、美容ドリンクに投資する価値は乏しいと同財団は指摘する。それよりも、栄養バランスのよい食事、紫外線防止、十分な睡眠、非喫煙、運動など、日常の地道な努力こそが肌状態を良好に保つ鍵になると助言する。

それでも、外見への効果を手っ取り早く実感したいという人には、ヒアルロン酸注射を紹介する。しかし、リスクもあることから、慎重に医師を選ぶこと、施術前に十分な説明を受けることが重要だと強調する。また、注射による効果は長続きせず、費用もかかることに注意を要するという。

\* ウェブ版「国民生活」2016年4月号「海外ニュース」参照 [https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11436742/www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201604\\_10.pdf](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11436742/www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201604_10.pdf)



## アメリカ

## 安全なウィンドーカバリングのために

● CPSC ホームページ

<https://www.cpsc.gov/Newsroom/News-Releases/2023/CPSC-Approves-New-Federal-Safety-Standard-for-Custom-Window-Coverings-to-Prevent-Deaths-and-Serious-Injuries-from-Strangulation-Window-Covering-Cords-Now-Deemed-a-Substantial-Product-Hazard>● CFA ホームページ [https://consumerfed.org/press\\_release/cpsc-cuts-cords-unanimous-decision-for-two-lifesaving-window-covering-rules/](https://consumerfed.org/press_release/cpsc-cuts-cords-unanimous-decision-for-two-lifesaving-window-covering-rules/)

ウィンドーカバリングとは、ブラインドやロールスクリーンなど窓を覆う製品。CPSC(消費者製品安全委員会)は、規制のなかった注文製品のウィンドーカバリングを開閉する操作紐<sup>ひも</sup>について連邦安全基準の導入を全会一致で承認した。また、純正製品および注文製品の操作紐とブラインドの羽根をつなぐ内部紐を重大な製品ハザード(SPH)と定義しリストに加えることも承認された。連邦安全基準は官報発表後180日、SPHリスト追加は30日後に発効する。

ウィンドーカバリングの紐が子どもの首に絡まる事故は一瞬で起こり、近くの大人も気づきにくい。CPSCによると、この事故で絞扼死<sup>こうやく</sup>する5歳以下の子どもは年平均約9人。2009～2021年の8歳以下の子どもの事故は200件以上、うち48%が死亡している。負傷は首回りの傷痕や四肢麻痺<sup>まひ</sup>、生涯残る重い脳

障害など。今回の連邦安全基準では、●紐なし ●アクセス可能範囲の紐なし ●アクセス可能範囲の紐の長さが8インチ(約25センチ)以下のいずれかに準拠し、製造元ラベルを表示しなければならない。

CPSCは、今回の連邦安全基準は8歳以下の子どもの犠牲を減らすために導入されたという。事故を防ぐためには紐なしが最善として、子どもが入るすべての部屋で紐なしの製品に切り替えるよう奨励している。切り替えできない場合は ●紐をできる限り短くし、子どもの手が届かない高さにする ●ウィンドーカバリングのある窓際からベッド、家具、玩具等を遠ざけるなどを助言している。

紐付きウィンドーカバリングの危険性を長年訴え、厳しい連邦安全基準の策定を求めてきた消費者団体等は、今回のCPSCの決定を歓迎している。



## オーストラリア

## シヨンキー賞2022を発表

● CHOICE ホームページ <https://www.choice.com.au/shopping/consumer-rights-and-advice/your-rights/articles/2022-shonky-winners>  
<https://www.choice.com.au/travel/on-holidays/airlines/articles/qantas-flight-credits-failure>

CHOICE(オーストラリア消費者協会)は、消費者にとって最悪の製品・サービスを選ぶシヨンキー賞の筆頭に、2022年は同国を代表する航空会社を挙げた。ロックダウン以降の遅延や欠航便の多発、返金に応じずフライトクレジット\*を配布、国境再開後の空港の混乱や手荷物紛失、コールセンターにつながる所要時間が最大50分など不手際が重なり、国の代表企業が失望の象徴だとCHOICEは評する。特に、期限切れや追加料金等の理由で使われなかったフライトクレジットが総額14億豪ドルに上った点を問題視。消費者法で規制される誤解を招く行為に当たるとして、ACCC(オーストラリア競争・消費者委員会)に苦情を提出、ACCCは調査を開始した。

ほかのシヨンキー賞受賞は、●ペットの医療費のためのローン：18%超の高金利のほか手数料等数々

の課金もあり、飼い主の不安な感情を悪用 ●野菜嫌いも気づかぬうちに野菜がとれるとうたうチキンナゲット：隠れた野菜は100g中わずか14g、11gがジャガイモ、カリフラワーが3g ●全国即日配達をうたうオンライン花屋：CHOICEの覆面調査で21件の花束の配送を注文したが8件が配達不可能とされ、配達されたうちの約半数は遅配で8件はしおれた花が混在 ●加熱後電源を切ると二重壁構造により自炊するというスマホアプリ対応の高価なデジタル調理鍋：レシピどおり調理したが食材は生煮えで、特に肉類は食中毒の危険性あり。

2022年はコロナ禍が続き、自然災害や生活費の高騰にも見舞われるなか、消費者を欺く商行為を目の当たりにするのは残念だとCHOICEはいう。

\* キャンセル等で未使用の航空券の価値を将来利用できるようにするしくみ